



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日
東

上場会社名 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 上場取引所
コード番号 4331 URL <https://www.tgn.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩瀬 賢治
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 若林 達二 TEL 03-3471-6806
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月11日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	47,668	1.4	4,104	△2.5	3,586	△4.5	3,547	93.7
2024年3月期	47,020	3.3	4,208	14.3	3,754	18.0	1,831	△55.4

(注) 包括利益 2025年3月期 3,620百万円(101.7%) 2024年3月期 1,794百万円(△46.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	243.15	-	20.2	6.7	8.6
2024年3月期	113.59	103.07	11.2	6.8	9.0

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	53,241	18,211	34.1	1,247.84
2024年3月期	54,380	16,963	31.2	1,019.87

(参考) 自己資本 2025年3月期 18,138百万円 2024年3月期 16,963百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	5,272	△596	△5,001	8,809
2024年3月期	3,812	△2,504	△4,392	9,134

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	-	10.00	-	10.00	20.00	291	17.6	1.7
2025年3月期	-	10.00	-	30.00	40.00	583	16.4	3.2
2025年12月期(予想)	-	-	-	31.00	31.00		45.2	

(注) 1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年4月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	35,450	-	1,850	-	1,450	-	500	-	34.26

(注) 当社は2025年6月25日開催予定の第27回定時株主総会で、「定款の一部変更の件」が承認されることを条件として、2025年度より事業年度の末日を3月31日から12月31日に変更することを予定しています。
決算期変更の経過期間となる2025年12月期は、2025年4月1日から2025年12月31日の9ヶ月間の予想数値を記載しております。そのため、対前年増減率は、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	14,619,330株	2024年3月期	14,619,330株
2025年3月期	25,217株	2024年3月期	33,427株
2025年3月期	14,591,626株	2024年3月期	14,574,686株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	39,801	△0.7	2,629	△9.9	2,926	4.1	3,181	245.9
2024年3月期	40,084	△0.1	2,918	4.5	2,813	15.0	919	△73.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	218.07	-
2024年3月期	51.01	51.74

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	47,779	15,671	32.8	1,073.83
2024年3月期	49,809	14,862	29.8	875.79

(参考) 自己資本 2025年3月期 15,671百万円 2024年3月期 14,862百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同時開示しています。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第一種優先株式)

	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年 3 月期	－	44,000.00	－	44,000.00	88,000.00
2025年 3 月期	－	－	－	－	－
2026年 3 月期(予想)	－	－	－	－	－

(注) 第一種優先株式は、2021年 4 月20日に発行したものです。

第一種優先株式の全株式について、2024年 4 月 2 日にその保有者から取得し、同日消却しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年4月1日～2025年3月31日)におけるウェディングマーケットにおきましては、長らく減少していた婚姻件数が横這いに転じたものの、厚生労働省の2025年2月の人口動態統計速報値によりますと、49万組(過去12ヶ月の合計)と50万組を下回る水準であり、厳しい市場環境が続いております。このような環境の中、当社グループにおきましては、婚礼取扱件数は減少いたしました。また、婚礼単価が上昇し、件数の減少による売上高減少を一部補完いたしました。婚礼単価を向上させることができた要因は、高品質・高単価商品のラインアップを増加させたこと、販売促進を強化したことによるものです。

一方、ホテルマーケットにおきましては、訪日外国人旅行者数が大きく伸びており、観光庁の2024年訪日外国人消費動向調査によりますと、訪日外国人旅行消費高(確報)は8.1兆円、2023年比53.1%増となっており、マーケット全体の客室単価等も高騰しております。このような環境の中、当社グループにおきましても、稼働率や平均客室単価は前年を上回る好調な推移となりました。

これらの結果、売上高は476億68百万円(前年比1.4%増)、営業利益は41億4百万円(前年比2.5%減)、経常利益は35億86百万円(前年比4.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は35億47百万円(前年比93.7%増)となりました。尚、親会社株主に帰属する当期純利益は、今後の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、法人税等調整額が▲7億7百万円計上され、大幅増益となっております。

事業別の状況は以下のとおりです。

国内ウェディング事業

(ウェディング)

直営店の取扱件数は、9,853組(前年比497組減)、婚礼単価は4,017千円(前年比93千円増)となりました。婚姻件数の減少というマクロの市況を受け、取扱件数は減少しておりますが、婚礼単価は、新型コロナ禍前を超過する水準まで上昇いたしました。また他社運営の施設、シティホテル等におけるウェディング部門の業務受託(コンサルティング)は増加し、取扱件数が2,271件(前年比+250件増)となり、増収を支えました。

(ホテル)

インバウンド需要の拡大に伴い、当社グループの運営するホテルにおいても平均客室単価、客室稼働率ともに、前年を上回っております。TRUNK(HOTEL) CAT STREET(東京都渋谷区神宮前)、及び2023年9月に開業したTRUNK(HOTEL) YOYOGI PARK(東京都渋谷区富ヶ谷)は、2店舗の平均客室単価が82,717円(前年比10.6%増)、稼働率は93.4%(前年比6.6pt増)と、次の成長ドライバーとして、堅調に推移しております。

以上の結果、売上高462億94百万円(前年比0.9%増)、営業利益58億44百万円(前年比2.2%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は532億41百万円となり、前連結会計年度末と比較し11億39百万円の減少となりました。これは、繰延税金資産が7億5百万円増加したものの、有形固定資産が14億91百万円減少したことなどによるものです。

当連結会計年度末における負債は350億29百万円となり、前連結会計年度末と比較し23億86百万円の減少となりました。これは、借入金23億40百万円減少したことなどによるものです。

当連結会計年度末の純資産は182億11百万円となり、前連結会計年度末と比較し12億47百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益35億47百万円を計上したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが52億72百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが5億96百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが50億1百万円の支出となり、この結果、当連結会計年度の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)期末残高は、期首より3億25百万円減少し、88億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は52億72百万円（前年同期は38億12百万円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益を32億35百万円計上したこと、減価償却費を20億54百万円計上したこと、減損損失を8億20百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億96百万円（前年同期は25億4百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14億49百万円を計上したことや、固定資産の売却による収入9億6百万円を計上したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は50億1百万円（前年同期は43億92百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入34億70百万円を計上したこと、長期借入金の返済による支出60億49百万円を計上したこと、自己株式の取得による支出20億1百万円を計上したこと、配当金の支払による支出3億79百万円を計上したことなどによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率(%)	14.9	21.9	28.5	31.2	34.2
時価ベースの自己資本比率(%)	25.5	27.7	33.7	29.0	24.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	-	4.7	8.4	6.9	4.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	-	16.8	8.0	7.7	10.1

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

① いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

② 株式時価総額は、当期末株価終値×当期末発行済株式数で計算しております。

③ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている長短借入金及びリース債務(長期を含む)を集計して計算しております。

④ 2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く経営環境は、物価高に伴い個人消費が弱まっている中でも、婚礼単価は継続的に上昇しており、今後も引き続き上昇するものと見込んでおります。しかしながら、婚姻件数の減少というマクロ環境を受け、当社グループにおける婚礼取扱件数も、前年を下回ると見込んでおります。一定の受注件数を確保するための、広告投資やリニューアル等の投資が継続的に必要であり、その投資額が大幅に増加いたしますが、販管費に関しては、取扱件数に応じた組織構造の変更等、効率化も同時に図り、成長ドライバーであるホテル事業へ投下するための安定したキャッシュを確保できるよう営業キャッシュフローの維持を目指して参ります。

ホテルマーケットにおきましては、訪日外国人旅行客の増加に伴い、引き続き外資系チェーンホテル等の開発が進んでおり、需要、供給ともに加速している状況です。当連結会計年度においては、当社グループも宿泊稼働率、宿泊者の外国人比率が上昇し、今後もこの傾向は続くものと予想しております。また、2023年にOPENしたTRUNK(HOTEL) YOYOGI PARK(東京都渋谷区富ヶ谷)は、著名な外資系ホテルが数多くノミネートする世界的なアワードAHEAD Asiaにて「Hotel of the Year 2024」、AHEAD Globalにて第4位に入賞したことから、海外での出店オファーも増加し、今後のホテル出店に向けたブランド開発、体制の構築等に向けた投資が増加する予定です。

また、当社は、事業運営の効率化、及び、グローバル展開に備え、2025年6月25日開催予定の第27回定時株主総会で、「定款の一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期を変更し、事業年度の末日を3月31日から12月31日に変更することを予定しております。よって、決算期変更の経過期間となる2025年12月期は、4月から12月の9ヶ月間を対象とした変則決算となる予定です。

以上のことから、2025年12月期の通期連結業績予想は、売上高354億50百万円、営業利益18億50百万円、経常利益14億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5億円としております。

当社グループは2022年に「ホスピタリティ業界にイノベーションを起こし、日本を躍動させる」というPURPOSE及び、長期経営方針「EVOL2030」を制定いたしました。成長ドライバーとなるホテル事業において、ブティックホテルという日本においては未開拓の領域で、高い稼働率・平均客室単価を実現し、世界的にもブランドが一定の評価、認知を得るようになってきました。すでに、3店舗の新規出店が決定しておりますが、今後もより一層、出店開発を強化し、日本の観光産業活性化に寄与すべく、PURPOSEの実現、長期的な企業価値向上を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,399	9,074
売掛金	618	562
営業貸付金	3,225	3,410
商品	159	182
貯蔵品	81	65
前払費用	640	665
その他	696	627
貸倒引当金	△70	△72
流動資産合計	14,750	14,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,974	32,877
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,303	△21,490
建物及び構築物（純額）	12,671	11,386
機械装置及び運搬具	133	132
減価償却累計額及び減損損失累計額	△107	△113
機械装置及び運搬具（純額）	25	19
工具、器具及び備品	7,345	7,625
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,442	△6,750
工具、器具及び備品（純額）	902	874
土地	13,492	13,030
リース資産	5,041	5,267
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,495	△2,878
リース資産（純額）	2,545	2,388
建設仮勘定	284	730
有形固定資産合計	29,921	28,429
無形固定資産		
その他	375	351
無形固定資産合計	375	351
投資その他の資産		
投資有価証券	15	15
長期貸付金	67	65
長期前払費用	93	72
繰延税金資産	4,351	5,056
敷金及び保証金	4,869	4,799
その他	215	213
貸倒引当金	△281	△278
投資その他の資産合計	9,331	9,944
固定資産合計	39,629	38,725
資産合計	54,380	53,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,624	1,949
短期借入金	640	880
1年内返済予定の長期借入金	5,350	5,409
未払金	2,270	1,557
未払法人税等	182	233
賞与引当金	565	472
株式報酬引当金	5	5
契約負債	1,871	1,845
その他	1,280	1,696
流動負債合計	13,789	14,049
固定負債		
長期借入金	16,949	14,310
長期リース債務	3,135	3,105
資産除去債務	3,169	3,044
その他	372	519
固定負債合計	23,626	20,980
負債合計	37,416	35,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	13,084	11,074
利益剰余金	3,845	7,013
自己株式	△66	△49
株主資本合計	16,963	18,138
非支配株主持分	-	72
純資産合計	16,963	18,211
負債純資産合計	54,380	53,241

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	47,020	47,668
売上原価	15,710	15,839
売上総利益	31,310	31,829
販売費及び一般管理費	27,101	27,724
営業利益	4,208	4,104
営業外収益		
受取利息	0	3
受取保険金	10	-
障害者雇用調整金	3	3
違約金収入	34	-
受取補償金	18	-
その他	21	17
営業外収益合計	88	23
営業外費用		
支払利息	491	512
支払手数料	12	-
その他	39	29
営業外費用合計	542	541
経常利益	3,754	3,586
特別利益		
固定資産売却益	-	469
投資有価証券売却益	62	-
特別利益合計	62	469
特別損失		
減損損失	530	820
特別損失合計	530	820
税金等調整前当期純利益	3,286	3,235
法人税、住民税及び事業税	260	323
法人税等調整額	1,194	△707
法人税等合計	1,455	△384
当期純利益	1,831	3,620
非支配株主に帰属する当期純利益	-	72
親会社株主に帰属する当期純利益	1,831	3,547

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,831	3,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	-
その他の包括利益合計	△37	-
包括利益	1,794	3,620
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,794	3,547
非支配株主に係る包括利益	-	72

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	13,166	2,610	△162	15,715
当期変動額					
剰余金の配当			△596		△596
親会社株主に帰属する当期純利益			1,831		1,831
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△82		96	13
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	△82	1,235	95	1,247
当期末残高	100	13,084	3,845	△66	16,963

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	37	37	-	15,753
当期変動額				
剰余金の配当				△596
親会社株主に帰属する当期純利益				1,831
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				13
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△37	△37	-	△37
当期変動額合計	△37	△37	-	1,210
当期末残高	-	-	-	16,963

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	13,084	3,845	△66	16,963
当期変動額					
剰余金の配当			△379		△379
親会社株主に帰属する当期純利益			3,547		3,547
自己株式の取得				△2,001	△2,001
自己株式の処分		△2,009		2,018	8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	△2,009	3,168	16	1,175
当期末残高	100	11,074	7,013	△49	18,138

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	-	-	-	16,963
当期変動額				
剰余金の配当				△379
親会社株主に帰属する当期純利益				3,547
自己株式の取得				△2,001
自己株式の処分				8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			72	72
当期変動額合計	-	-	72	1,247
当期末残高	-	-	72	18,211

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,286	3,235
減価償却費	1,881	2,054
減損損失	530	820
のれん償却額	3	-
敷金及び保証金のリース料相殺額	38	38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△74	△92
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	139	-
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	△1	-
補助金収入	-	-
違約金収入	△34	-
受取補償金	△18	-
受取利息及び受取配当金	△0	△3
受取保険金	△10	-
営業外支払手数料	12	-
支払利息	491	512
投資有価証券売却損益 (△は益)	△62	-
固定資産売却損益 (△は益)	-	△469
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△718	△185
売上債権の増減額 (△は増加)	△129	55
仕入債務の増減額 (△は減少)	138	325
前払費用の増減額 (△は増加)	△32	△19
未払金の増減額 (△は減少)	△533	△533
前受金の増減額 (△は減少)	41	△46
契約負債の増減額 (△は減少)	△137	△26
その他	△729	397
小計	4,081	6,061
利息及び配当金の受取額	0	3
利息の支払額	△492	△519
保険金の受取による収入	10	-
補助金の受取額	-	-
違約金の受取額	34	-
補償金の受取額	18	-
法人税等の支払額	160	△272
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,812	5,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
信託預金の増減額 (△は増加)	43	-
ソフトウェアの取得による支出	△221	△87
有形固定資産の売却による収入	-	906
有形固定資産の取得による支出	△2,357	△1,449
投資有価証券の売却による収入	68	-
貸付金の回収による収入	15	1
敷金及び保証金の差入による支出	△88	△56
敷金及び保証金の回収による収入	35	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,504	△596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△770	240
長期借入れによる収入	3,900	3,470
長期借入金の返済による支出	△6,668	△6,049
自己株式の取得による支出	△0	△2,001
営業外支払手数料の支出	△12	-
リース債務の返済による支出	△244	△280
配当金の支払額	△596	△379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,392	△5,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,084	△325
現金及び現金同等物の期首残高	12,218	9,134
現金及び現金同等物の期末残高	9,134	8,809

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(第一種優先株式の取得及び消却)

当社は2024年2月9日開催の取締役会において、会社法第168条及び当社定款第12条第2項に基づき、当社発行の第一種優先株式を全株取得すること、また、会社法第178条に基づき、当該株式の消却を行うことを決議し、2024年4月2日に実施いたしました。

(1) 取得の内容

取得する株式の種類	第一種優先株式
取得する株式の総数	2,000株
株式の取得対価の内容	金銭
1株あたりの取得価格	1,000,482円20銭
株式の取得価格の総額	2,000,964,400円
取得先	農林中金キャピタル2019投資事業有限責任組合
取得日	2024年4月2日

(2) 消却の内容

消却する株式の種類	第一種優先株式
消却する株式の総数	2,000株
消却日	2024年4月2日

(固定資産の譲渡)

当社は2023年8月25日開催の取締役会において、当社が保有する固定資産を譲渡することを決議し、2023年9月6日付で譲渡契約を締結し、2024年4月9日付で譲渡いたしました。

(1) 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地：土地（計11,164.81㎡）、建物3棟（計1,847.7㎡）
大分県大分市大字下郡字尾西1607番1他

譲渡益：469百万円

(2) 譲渡の日程

契約締結日 2023年9月6日

引渡日 2024年4月9日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は（追加情報）（第一種優先株式の取得及び消却）に記載のとおり、第一種優先株式の取得及び消却を実施いたしました。この結果当中間連結会計期間において資本剰余金が2,000,964,400円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内ウェディング、金融・クレジット、旅行等複数の業種にわたる事業を営んでおり、業種別に区分された事業ごとに、当社及び当社の連結子会社(以下、事業運営会社)が各々独立した経営単位として、単一の事業に従事する経営スタイルを基本としております。

したがって、当社グループは、事業運営会社を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「国内ウェディング事業」を報告セグメントとしております。

「国内ウェディング事業」は、国内ハウスウェディング・レストランウェディングの企画・運営及び各種商品企画をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント	その他 (百万円)(注1)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	45,832	788	46,620
その他の収益	54	345	400
a. 外部顧客に対する売上高	45,886	1,133	47,020
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	378	393
計	45,901	1,512	47,413
セグメント利益	5,977	266	6,244
セグメント資産	38,465	3,764	42,230
その他の項目			
減価償却費(注2)	1,770	11	1,781
のれんの償却額	3	-	3
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額(注2)	2,935	12	2,948

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業等を含んでおります。

2. 減価償却費、及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用とその償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

	報告セグメント	その他 (百万円)(注1)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	46,276	954	47,230
その他の収益	17	419	437
a. 外部顧客に対する売上高	46,294	1,374	47,668
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	419	421
計	46,296	1,793	48,090
セグメント利益	5,844	370	6,215
セグメント資産	36,716	4,835	41,552
その他の項目			
減価償却費(注2)	2,042	12	2,054
のれんの償却額	-	-	-
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額(注2)	1,792	12	1,805

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業等を含んでおります。

2. 減価償却費、及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用とその償却額が含まれております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

売上	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計(百万円)	45,901	46,296
「その他」の区分の売上(百万円)	1,512	1,793
セグメント間取引消去(百万円)	△393	△421
連結財務諸表の売上高(百万円)	47,020	47,668

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計(百万円)	5,977	5,844
「その他」の区分の利益(百万円)	266	370
セグメント間取引消去(百万円)	4	7
全社費用(注)(百万円)	△2,039	△2,117
連結財務諸表の営業利益(百万円)	4,208	4,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計(百万円)	38,465	36,716
「その他」の区分の資産(百万円)	3,764	4,835
全社資産(注)(百万円)	12,149	11,688
連結財務諸表の資産合計(百万円)	54,380	53,241

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社設備であります。

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費(百万円)	1,770	2,042	11	12	100	3	1,881	2,057
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 (百万円)	2,935	1,792	12	12	259	57	3,207	1,862

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,019.87円	1,247.84円
1株当たり当期純利益	113.59円	243.15円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	103.07円	-円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,831	3,547
普通株主に帰属しない金額(百万円)	176	-
うち優先配当額(百万円)	176	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,655	3,547
期中平均株式数(株)	14,574,686	14,591,626
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	176	-
うち優先配当額(百万円)	176	-
普通株式増加数(株)	3,193,867	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	-	-

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	16,963	18,211
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,088	-
(うち優先株式の払込額(百万円))	(2,000)	-
(うち優先配当額(百万円))	(88)	-
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	14,875	18,211
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,585,903	14,594,113

(重要な後発事象)

該当事項はありません。